

《企画意図》それぞれのストーリーを想像してほしい（京都精華大学 渡邊 和）

職場の同僚であった彼女と結婚し、  
 待望の娘が生まれ、子どもの未来を  
 語り合っていた矢先、突然の事故で  
 妻を亡くし、深い悲しみに包まれ  
 ながらも、仕事と慣れない  
 家事や育児に奮闘し、男手ひ  
 とつで25年間育てた娘の結  
 婚式帰りの電車で酔っ払っているお  
 やじが娘との日々までのことを思  
 い出して感慨深くなっているところ

想像しよう、それぞれのストーリー。

人は、それぞれ背景や事情があって、同じ電車に乗っただけではその一部しか見えていません。  
 しかし、ついその一部だけで判断してしまうことが多い私たち。ひとりひとりが少しずつ  
 それぞれのストーリーを想像することで、新たな理解と共感が生まれて優しい世界が広がるかも。  
 あなたも目の前の人のストーリー、想像してみませんか。

気づきを、動きへ。

ACジャパン広告学生賞

AC  
JAPAN

新聞広告部門 応募作品

《寸評》やさしい目線を持っているテーマ性の良さ、デザイン性、アイデアの良さがある。二行程度の少ない黒い文字から逆に薄いグレーの文字の内容を読みたくなる。心がほっこりする素敵な作品。酔っ払いの不快な話しかと思いきや、人間に対する様々なイマジネーションを働かせようという切り口がとても良く、良い話しのギャップが面白い。